

迎春



発行 国立市公民館 〒186-0004 国立市中1-15-1
☎ 042-572-5141 FAX 042-573-0480 休館日：毎週月曜日

これまで公民館は青年室という部屋を設け、若者たちの学習活動や居場所づくりを支援してきました。現在も、しょうがいの有無に関わらず共に働き学びあう喫茶コーナー(わいがや)の運営や、若者自身が仲間と共に創っていく青年室活動が活発に行われています。一方で近年、若者の就労や社会参加が困難になる事態が社会問題化しています。不登校やひきこもり、就職難やニート(無業者)など、特定層の若者の「生きづらさ」には社会的な支援が必要です。また、就職できたとしても長時間労働や不安定雇用、人間関係のつまづきなどの問題によって、持続的な就労が妨げられることもあり、自立ほどのような若者にとっても容易なことではなくなりました。現在、若者が自分らしく輝くために、学ぶ力を育て、働く力を身に付ける時間や場が社会の中に求められています。そこで公民館は、青年室を拠点にして他者と共に学び、社会参加していく場づくりをさらに充実させたいと思います。また、市民・関係者のみなさんとの問題の理解を共有し、地域に支援の輪を広げていくために、今後も継続的に事業を展開します。お気軽に「相談・ご要望」などを寄せてください。

公民館は、自分らしく生きる若者の社会参加を応援します！

「生きづらさ」を抱える若者を支える



今回は不登校やひきこもりをテーマの中心にした以下のような講演と映画上映を開催します。どなたもお気軽にご参加ください。



【映画会】

上映作品 「十五才 学校Ⅳ」

2000年 カラー 120分 / 監督：山田洋次 / 製作：松竹・日本テレビ放送網・住友商事・角川書店・博報堂

さまざまな「学校」を舞台に、懸命に学び、生きる人々の姿を描いて日本中に大きな感動を巻き起こしてきた山田洋次監督の『学校』シリーズ。今回の物語は、学校に行かない中学三年生の少年のヒッチハイクの旅を描いたロードムービーです。

この映画を通じて、不登校やひきこもりの若者が、人・コト・世界と出会い、やがて自分自身を生きる主体になって歩みはじめるプロセスについて考えてみませんか。

とき 2月16日(日)午後2時～4時15分
ところ 公民館 地下ホール (定員 80名)
申込不要 ご自由においでください。

【講演と対話】

「若者がもっと生きやすくなる社会にむけて」

精神科医と教育学者、それぞれのお話から、不登校・ひきこもりの問題解決の道筋を考えます。



高藤環さん

お話 たまき
齋藤環 (精神科医・筑波大学)
「ひきこもる若者たちに
家族と地域ができること」
山田哲也
(一橋大学・公民館運営審議会委員)
「若者の生きづらさの意味を
教育システムから考える」

とき 2月1日(土)午後2時～5時
ところ 公民館 地下ホール
定員 80名(先着順)
申込先 1月10日(金)朝9時～ 電話可
公民館 ☎ (572) 5141

〈平和講座〉

平和の構築に向けて私たちができること

—参加者の声—

世界各地で現在も戦争や内戦、テロによって多くの人命が失われています。日本に暮らす私たちにとって、それは遠く離れた地域での出来事かもしれません。そうした状況に対して私たちができることはないのでしょうか？ 未来の平和のために、私たちができることは何なのか？ そもそも、平和とは一体何なのか？

今年度の平和講座では、「平和の構築に向けて私たちができること」と題して、そうした問いを参加者の皆さんと一緒に考える連続2回の講座を実施しました。

第1回は、シエラレオネやアフガニスタンなどの紛争地で武装解除を指揮してきた伊勢崎賢治さんのお話をうかがいました。伊勢崎さんが現在担当している東京外国語大学大学院の平和構築・紛争予防の授業のことなども触れられました。

第2回は、竹中千春さん(立教大学)から、暴力の構造や対話の重要性についてのお話をうかがい、その後、グループに分かれて参加者同士「平和」について話し合いました。話し合った内容を模造紙に書き出し、最後は参加者全体で共有しました。

参加者のお二人に感想を書いていただきました。

世界はつながっている

—世界の平和を国立で考えてみた—

河合智世(東)

◆対話の難しさ

9月初旬に国立市に移り住み、間もなくポストに届いた公民館だより今回参加した平和講座が紹介されていました。社会問題に関心があり、また国立市を知るきっかけにという思いで参加しました。

第1回の伊勢崎さんの講演では、紛争地域での平和構築をめぐる取り組みや問題点といった話に始まり、留学生向けの授業や自衛隊員向けの講義を続けてきて感じたこと、そして日本の平和に関わる近頃の政治的な動きについての考えなどを聞きました。

印象に残っているのはホロコースト教育についての話です。ホロコーストの話聞いて、日本人が受ける印象とイスラム圏出身の留学生が受ける印象は違うそうです。悲劇を繰り返さないために、歴史を記憶にとどめていくことも必要ですが、ホロコーストはあまりにもデリケートな題材で、彼らを相手に行う授業では扱うことができ

ないという話でした。

宗教や民族の差で捉え方が極端に異なるこのような例は対話すら難しいようで、私にはそのことが理解し難くまた残念に思えてなりませんでした。

◆自分が主役

第2回のグループワークでは、平和のために自分たちができることについて意見を出し合いました。平和な社会とは？ という問いに、「高齢者が元気に暮らせる社会」と考える人もいれば、「若年層こそが希望をもって生きられる社会」と発言する人もいて、率直な意見が飛び交っていました。

結論がでなくてもOKという竹中さんの声もあり、グループごとの発表はまとまりに欠け成果が見えにくいものでしたが、多くの参加者が自分の身の回りのできることを考えて取り組んでいたりと、グループで活動をしていたりする様子が伝わってきました。はっきりとした答えの出ない議論にもどかし



第1回講師
伊勢崎賢治さん

◆私ができること

さて、平和の構築に向けて私たちができることは。伊勢崎さんが度々口にしていた寄付は分かりやすい例ですね。グループワークでは「まずは自分が平和に生きること」という意見も出ました。

今後社会的グローバル化は進み、外国人や異文化に触れる機会も増えていくでしょう。そうした時には、人を見るうえで優先されがちな国籍や宗教などに偏らず、もっと個人的で多様なアイデンティティに目を向けられるようになってほしい。そうすれば宗教や民族の差で捉え方が異なる問題でもきつと対話が行えます。互いを理解し尊重しようとする、それが平和の構築に向けて私ができることです。

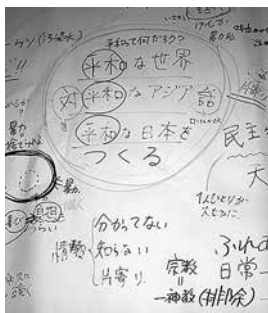
■各回の詳細

回	月 日	テーマ	講師
1	10月5日	紛争屋に聞く、戦争と平和	伊勢崎賢治 (東京外国語大学)
2	10月16日	自分が主役！ わたしたちができることって何だろう	竹中千春 (立教大学)

第2回・平和を身近な対話から考える



プロフェッショナルな人道的商社のようなNGOで働き、チャイルド・サバイバル・プロジェクトで学校や農協を創設し運営。豊富な地下資源がありながら法と秩序が崩壊した世界最貧国に、多国籍企業と民間軍事会社が権力と癒着して国際援助を美談として続けるのはマッチポンプ※ではないかと指摘。国連からの依頼で、反政府ゲリラ地域の部隊を一つずつまわって説得し6万人のゲリラ兵を武装解除したが、最大の犠牲は子どもたちの運命。目の前で親を殺さ



メンバーで作成した図式

「安全で豊かな世界」と「危険で貧しい世界」への分裂や暴力の構図は、遠い世界ではなく日本国内にもあると解説され、ワールド・カフェ方式のグループ対話を経験させてくださいました。

「平和な世界、平和なアジア、平和な日本をつくるために私たちが何ができるか」をテーマに健康や原発、選挙など、各メンバーが大事に思うことを自己紹介して、平和とは？ 幸せとは？ 自由とは？ などを討議。次に各グループ間でメンバーの組み合わせを変えて、模造紙に書いて発表。対話、保留、宗教、民主主義などの知恵を共有しました。正解はないけれど、自分が主役で行動すること、知り合いを増やすというような日常の行いが、平和の力の元になることを学びました。

最後に参加者から「平和を説く人は暗殺されるのでしょうか？ ガンジもキング牧師も」と質問。竹中さんは「そうですね。でもガンジは78歳まで生きたのです。それは周りの人たちが支え守ったからなのです。キリストもまた。」と答えられました。

また「賢く声を上げていきましよう」との竹中さんの締めくくり

「ここは考えを出し合い、確かめてもよいのだ」と思える場を見つけ、無ければおこし、対等な対話の工夫を重ねることです。講師、受講者を問わず、人と人が出会える場所としての公民館があることを改めて心強く思います。

※意図的に自分で問題を起し自分でもみ消すこと。また、そうして不当な利益を得る人。

平和はつくるもの

—連続平和講座を受講して—

荒井寿恵(谷保)



第2回講師
竹中千春さん

◆私の学んだこと

実は、第2回の最初に竹中さんは「第1回で学んだことを教えてください」と問われたのです。伊勢崎さんの講義に感銘を受けたのは覚えているのに、わずか11日後の記憶の頼りないこと。対話のワークシヨップが連続講座に組み込まれている意味を考えました。伊勢崎さんの子ども兵士と同様、私も「自分で考えて」対話しているつもりでしたが、世の中に流通する考えを取り込んでいただけ、いつの間にか何かに「志願」してはいないだろうかと思問しました。

私にとって平和をつくる一歩は「ここは考えを出し合い、確かめてもよいのだ」と思える場を見つけ、無ければおこし、対等な対話の工夫を重ねることです。講師、受講者を問わず、人と人が出会える場所としての公民館があることを改めて心強く思います。

※意図的に自分で問題を起し自分でもみ消すこと。また、そうして不当な利益を得る人。

来年度、保育を希望するグループは お知らせください

公民館には公民館保育室があり、公民館で活動する市民グループの中で保護者が乳幼児をあずける必要がある場合、保育を行います。

来年度(2014年4月～)保育を希望するグループ、考えているグループは1月31日(金)までに公民館へお知らせください。



〈くにたちブッククラブ 時空をこえる言葉〉

川上弘美『神様2011』

(講談社)

今年度最後のブッククラブは、川上弘美のデビュー作『神様』が生まれ変わった小説『神様2011』を取り上げます。2011年の福島第一原発事故を経て書き替えたこの作品について、川上弘美は「あえて出版したのは、『原子力は人間の手に余る』ということ、私自身にできるやり方で、どうしても訴えたかったから」と述べています。

3.11以後の文学として注目されている一作について、今回も参加者で感想を出し合い読みを深めていきます。



昨年4月のブッククラブ

講師 金井 景子 (早稲田大学・日本近代文学)

とき 1月9日(木)夜7時半～9時半

ところ 公民館 3階講座室

申込先 公民館 ☎ (572) 5141

介護短歌 作品展

講座「介護短歌、はじめませんか」(7月～9月、全3回)では、介護体験やそれぞれの想いを短歌にまとめました。地域の多くの方に気持ちを共有していただけたらと思います。ぜひ見に来てください。

とき 1月21日(火)朝9時～

1月26日(日)昼12時

ところ 公民館 1階市民交流ロビー



講座のようす

私は、一日中ベッドで寝ている祖母の姿を描きました。暇つぶしに描いたものですが、写真より祖母の存在、体温を感じられ、写生帳は今や私の宝物です。

寝たきりの祖母を描きし写生帳
白髪もシワもあたたかくあり

中島 千恵子

*この作品は、NHK 介護百人一首2013の一首に選ばれ、番組でも取り上げられました。

はじめての銅版画—Etching Work Shop—

講師 山本 佳奈枝 (銅版画家)

坂田 季代子 (銅版画家)

何を描く? どう描く? 何ができる? どんな風にできる? そんな疑問に応えながら銅版画創作を楽しむ、初心者向けのワークショップです。

銅版画(エッチング)とは、銅板に描いた絵を腐蝕させて版を作り、できた凹部にインクを詰めて紙をのせ、プレス機で刷る技法です。腐蝕法によるエッチングで、銅版画ならではの繊細な線で小さな作品を作ります。

仲間とともに作る作業の時間を楽しみながら、創作・表現してみませんか。

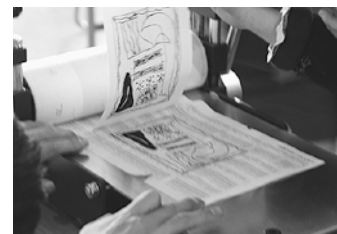
とき 2月2日、16日、3月2日、16日

いずれも日曜日 昼2時～5時

ところ 公民館 3階実習室



昨年度参加者の作品



プレス機で刷っているところ

定員 10名(先着順)

対象 原則休まずに出席できる方はじめて参加する方を優先します

材料費 千円(ニードル、銅板、版画紙など)

持ち物 8×10cmの下絵(タテヨコ自由) エプロン(よごれてもよい服装)、筆記用具

申込先 1月11日(土)昼2時～ 公民館 ☎ (572) 5141

〈女性の生きかたを考える講座・公開講座〉

男性の方も
ぜひご参加ください

母と娘のむずかしさ

講師 大美賀 直子 (精神保健福祉士、

産業カウンセラー・All About「ストレス」ガイド)

母と娘の関係には、心理的な距離の近さから生じる難しさがあります。

母と娘が依存してしまう背景にはさまざまな原因がありますが、同性同士であるがゆえに、共感を求めすぎることでお互いを拘束してしまうことがあるのです。

その影響から、娘にとって世界の中心は母になり、「墓守娘」と呼ばれるような家族から自立できない大人になったり、機能不全家族のなかで育ち、成人してもそのトラウマを抱えている「アダルト・チルドレン」と呼ばれる大人になることもあります。また、母の側も自立が損なわれることで、晩年の生活に影響が生じることがあります。

心の病や問題行動までもまねくことがあるこの問題を正

しく理解し、じっくり考える機会にしたいと思います。

「女性の生きかたを考える講座」(昨年5月～7月)の参加者の学びのなかから出てきたテーマを取り上げました。



とき 1月29日(水)朝10時～12時
ところ 公民館 地下ホール
定員 30名(年齢・性別不問)
申込先 1月10日(金)朝9時～
公民館 ☎ (572) 5141

〈青年講座—コーヒーハウス—〉

コーヒーをハンドドリップで 淹れてみよう!

あなたはいつもどんなコーヒーを飲んでますか?

公民館1階にある喫茶「わいがや」のスタッフと共に、ハンドドリップで、ちょっとこだわりコーヒーの淹れかたを学んでみませんか。家で美味しくコーヒーを淹れたい人、「わいがや」等の喫茶店で働いてみたい人などなど、お気軽にお越しください。

コーディネーター 喫茶「わいがや」スタッフ

※喫茶「わいがや」とは…

10～30代の学生・社会人としてしょうがいをもつ若者が共に運営するコミュニティ・カフェです。

とき 1月26日(日)昼3時～4時頃

ところ 公民館 1階青年室

対象 10～30歳代までの方

定員 5名(先着順)

申込先 1月8日(水)朝9時～ 電話可
公民館 ☎ (572) 5141



〈青年室活動〉

ワカモノたちの もちつき大会

公民館の1階にある青年室で企画・運営している、若者による若者のための「もちつき大会」です。準備からみんなで一緒にやってみませんか。お気軽にご参加ください。

とき 1月26日(日)昼1時～4時頃

対象 中学生～30代の方

ところ 公民館 南側駐車場 ※雨天実施

申込先 公民館 ☎ (572) 5141



親子で遊ぼう・考えよう

オリジナルスタンプを つくって楽しもう!

今回は、身近な材料を使って、親子でオリジナルのスタンプを作ります。スタンプを作った後は、いろいろな紙に押し、世界で一つだけのオリジナル模様を楽しみましょう!保護者の方も含め、汚れてもいい服装でお越しください。



講師 本間 由佳
(NPO法人東京学芸大こども未来研究所)

とき 1月19日(日)朝10時～12時

ところ 公民館 地下ホール

定員 子ども(3歳～小学生)と保護者
25組(先着順)

持ち物 タオル、飲み物

※インクで服が汚れてしまう場合があるので、動きやすく、汚れてもよい服装でおいでください。

申込先 1月7日(火)朝9時～
公民館 ☎ (572) 5141



昨年7月(南市民プラザ)

＜図書室のつどい＞
里山資本主義
 ―マネーに依存しないサブシステム―

講師 ^{もたに} 藻谷 浩介 (株式会社 日本総合研究所)

人が生きていくのに必要なものは何か。お金？ 水や食料、燃料？ 藻谷さんは、お金の循環が前提の経済システムの横にお金に依存しないサブシステムを再構築しておこうという「里山資本主義」を提唱しています。現代人に昔の農村のような自給自足の暮らしをしようというものではありません。中国地方での取り組みを通して「里山資本主義」とはどのようなものか、またそれが現代人の未来に対する不安や不満の解消、少子化の解決や明るい高齢化社会にもつながるといふ藻谷さんのお話を伺います。
 〈藻谷さんの著書〉『里山資本主義―日本経済は「安心の原理」で動く』、『デフレの正体』(角川 One テーマ21)、『実測！ニッポンの地域力』(日本経済新聞出版社) ほか

とき 2月1日(土) 夜7時～9時 定員80名(先着順)
 ところ 公民館 地下ホール *ご自由においでください。

シネボックス 公民館映画会
『フラガール』
 シネカノン=ハピネット=スターダストピクチャーズ
 2006年 カラー 120分

監督 李相日 脚本 李相日、羽原大介
 出演 松雪泰子、豊川悦司、蒼井優、徳永えり、山崎静代、寺島進、岸部一徳、高橋克実、富司純子ほか

石炭産業が斜陽化していく1960年代を背景に、福島県いわき市の炭鉱町に誕生した常盤ハワイアンセンターで、フラダンスショーを成功させるためにひたむきに奮闘する人々の姿を描く、実話を基にした感動作。李相日監督の堅実な演出と松雪泰子、蒼井優ら俳優陣の熱演は高い評価を受け、キネマ旬報ベストテン1位、日本アカデミー作品賞などその年の映画賞を総ナメにした。

とき 1月26日(日) 昼2時～
 ところ 公民館 地下ホール 定員 85名(当日先着順)
 *ご自由においでください。ただし、定員を超えた場合は入場を制限させていただきます。

コラボあり！ 体験あり！ ～ 交流深まった市民文化祭 ～

◆参加グループは18団体から28団体に

今年度の「くにたち市民文化祭」は、「輝け みんなの力」というテーマのもと、伝統文化、芸術、音楽、国際交流など28団体が日ごろの活動の成果を発表しました。昨年度より期間は短縮になったものの参加グループは10団体増え、大いに盛り上がりました。

◆コラボレーションで交流も活発化

複数のグループと一緒に発表したり、作品展示会場で他のグループが発表会をするなど、参加グループどうしの交流はもちろん、観客間の交流も活発に行われました。



ちぎって入れる
 「にーだんご(煮だんご)」
 (昨年11月3日の交流会/公民館)



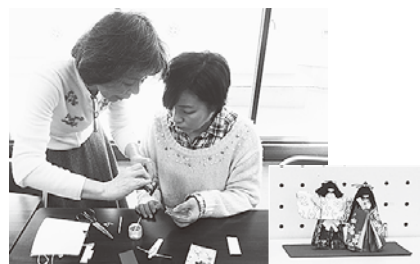
やさしい音色と歌声のコラボレーション 「桜音の会」《フルート》左、「赤とんぼ」《合唱》中、「オカリーナくにたち」《オカリナ》右 (公民館地下ホール)

◆新たな試み〈見学・体験会〉

文化祭期間中に公民館を利用して活動しているグループの見学・体験会を行いました。参加された方からは、グループ活動への参加の敷居が低くなったとの声をいただきました。文化祭期間中に限らず、こうした機会を継続していきたいと考えています。

◆キレイになった公民館でより華やかに！

文化祭に先立ち市民の方々のご協力を得て、会場となる部屋の壁のペンキ塗りや和室の障子張りを行いました。文化祭に参加する方もしない方も文化祭が始まる前から交流でき、それがきっかけで見学にいらしてくださる方も多く見かけられました。きれいになった壁や障子が展示物をより華やかに映えさせ、文化祭の盛り上げに一役かったことは言うまでもありません。



彩人形の体験風景と展示作品

ひろば

(8ページにもあります)



〈懐かしの国立シリーズ〉

旭通り 東1丁目 (1987年)

撮影 佐藤洋子さん(中)

一般漢字・かな・硬筆。基本からやっております。教養講座・破体教室は第四週。忙しい方は4時間の間においで下さい。谷保天満宮書道展2月23日～3月2日に出品。
日時 毎月第二・四火曜日
場所 谷保東集会所 1階洋室
連絡先 井田090(1767) 3906

墨の会 若千名募集

初心者レベルから中級レベルまでの実力を養成できる学習サークル。趣味や就職・転職にも十分に対応できる講座内容。親睦の行事もあり、楽しく学びませんか。
日時 月3回 日曜日昼2時～
場所 公民館 3階講座室
連絡先 村上(573) 9682

水泳同好会会員募集

今年こそ、水泳で健康づくりをしませんか。免疫力アップには水泳が一番。初心者から上級者まで泳力別にコーチの指導を受けています。年齢・性別不問。体験可。
日時 毎週火曜日 昼2時～4時
場所 総合体育館 室内プール
連絡先 荒木070(5013) 6467

新年を迎え今年こそ運動不足解消!と思っっている方。暖かいプールで泳いでみませんか。レベル別に公認コーチが親切に指導します。年齢性別不問。体験にどうぞ。
日時 毎週火曜日 夜7時～9時
場所 総合体育館 室内プール
連絡先 石橋(577) 2621

春には公民館に「お花畑」?

ナノハナ、ムラサキハナナ、スイセン、エンドウなどを植えました

緑化のボランティアの方々のご協力により取り組んでいます。春のお花畑をお楽しみに。



ナノハナ、スイセンなどを植えました(駐輪場東側)



新芽が出ていました



赤と白のエンドウ (駐輪場の横)



寄せ植え (正面玄関)

エンジョイフットサルのお誘い

男女20～40歳の仲間と、iPad映像等を活用し一人一人の個性を伸ばし、チームとして繋がるフットサルを目指す「ソラーナ」で、一緒に楽しみませんか?
日時 土日、月3、4回
場所 主に国立市内の体育館
連絡先 磯080(3258) 6711

「ひまわりの会」へのお誘い

童謡・唱歌・叙情歌・世界の歌を楽しく歌います。芸大音楽科卒の山岸公子先生が丁寧に指導してください。見学はいつでも大歓迎。ご連絡をお待ちします。
日時 毎月第二・四水曜朝10時～
場所 北市民プラザ多目的ホール
連絡先 新里(577) 1062

パソコンフレンズ会員募集

初心者レベルから中級レベルまでの実力を養成できる学習サークル。趣味や就職・転職にも十分に対応できる講座内容。親睦の行事もあり、楽しく学びませんか。

「ぞくぞく太極拳」会員募集

24・48式を中心に年間問わず楽しく太極拳をしています。剣のレッスンも始まりました。初心者の方も大歓迎!!太極拳で心身共に健康になりましょう。
日時 毎週金曜日 昼3時～5時半
場所 総合体育館 第3体育室
連絡先 山田090(3439) 0339

テニスの仲間募集

スウィング硬式テニスクラブです。男女半々ほどでゲームを楽しんでいます。お試し参加も歓迎します。ぜひコートまでお出かけ下さい。場所は月により変わります。
日時 火・木 原則昼2時～4時
場所 谷保、矢川、広場コート
連絡先 伝田(571) 1067

水泳クラブ「紫水会」会員募集

今年こそ、水泳で健康づくりをしませんか。免疫力アップには水泳が一番。初心者から上級者まで泳力別にコーチの指導を受けています。年齢・性別不問。体験可。

公民館運営審議会報告

12月10日(火) 第14回定例会を開催。委員15名、館長、職員2名が出席。傍聴1名。

前回の議事録確認

訂正等、指摘事項は特になし。

要望書の提出

11月27日(水)、委員長ほか4名で市長に会い、「公民館だよりの統合に関する要望書」「国立市公民館の職員配置に関する要望書」を提出。後者は教育委員会にも提出。

議題

諮問「現代地域社会に求められる公民館の事業」について

答申骨子(案)を委員長より、答申骨子案に対応する公民館事業の現状」を井口職員より説明。

これからは骨子案に沿った課題別に三つの小委員会を作り、内容を詰めていくことを決定。

報告事項

○公民館だより編集研究委員会 講座参加者の声が聞けてよかったです。市民と職員で公民館をきれいにするのは素晴らしいと思った。来月号は二色刷りです。

社会教育委員の会

11月19日(火) 教育委員会指導主事より、学校を取り巻く現状の説明があった。

○東京都公民館連絡協議会

12月1日第2回研修会「三多摩の公民館の今日的課題」の報告。公連審委員2名参加。

次回の定例会は、1月14日(火)午後7時15分から。傍聴歓迎。

(鮫島)

— 今月の公民館 (1月、2月初) —

*印は参加自由、他は事前申込みが必要です。

- 1月8日(水)夜~ 日本語教育入門
- 9日(木)夜 くにたちブッククラブ
川上弘美『神様2011』
- 11日(土)昼~ 人権講座
- 12日(日)朝 くにたち野鳥観察団「冬の多摩川」
- 19日(日)朝 親子で遊ぼう・考えよう
「オリジナルスタンプをつくって楽しもう！」
- 21日(火)朝~26日(日)昼 介護短歌作品展
- 26日(日)昼 *CINEVOX公民館映画会「フラガール」
- 26日(日)昼 ワカモノたちのもちつき大会
- 26日(日)昼 青年講座
「コーヒーをハンドドリップで淹れてみよう！」
- 29日(水)朝 女性の生きかたを考える講座・公開講座
「母と娘のむすかしさ」
- 2月1日(土)昼 若者がもっと生きやすくなる社会に向けて
- 2月1日(土)夜 * 図書室のつどい「里山資本主義」
- 2日(日)昼~ はじめての銅版画

ひろば

(7ページにもあります)



〈懐かしの国立シリーズ〉

旭通り 坂下 (1987年)

撮影 佐藤洋子さん(中)

国際友好会 WINGの会

1月のWING異文化コミュニケーションの会は、留学生のオマリ・ヘドバットさんをお招きしてイギリスの文化について話し合います。参加費は100円です。

日時 1月16日(木)夜6時半
場所 一橋大学 国際交流会館
連絡先 芦沢(576) 0474

地震国・フィリピンと日本

その時子どもや外国人は? 震災の現状と対策について一橋大学客員研究員のカールさんにお話を聞き、終了後目赤の方から応急処置を学びます。主催 KUNIBO

日時 1月18日(土)昼1時
場所 公民館 1階ロビー
連絡先 山崎(574) 4052

第10回くいしんぼクラブ
オーストラリア料理

エリーゼンさんに料理とお菓子を習いましょう。材料費800円。ふきんとゴミ袋をご持参下さい。

日時 1月25日(土)昼1時
場所 福祉会館 3階料理講習室
連絡先 八宮(571) 1007

学習会・創氏改名とわたし

戦前の日本が「植民地・朝鮮」で実施した創氏改名。その実体はどうだったのでしょうか。朝鮮史研究者・宮田節子さんのお話を伺います。主催 公民館を守る会

日時 2月1日(土)昼1時半
場所 公民館(予定)
連絡先 杉原(577) 0124

〈サークル訪問268〉
アンサンブルりんのね

4年前に林智子さんを指導者として当初4人で結成したヘルマンハープのアンサンブル。現在メンバーは八人。楽器はドイツのバイエルン州の農場主ヘルマン・フェー氏が、息子のために開発した。



鈴の音のごとく心と心の輪を広げる

楽器に触れて弾く体験に感激し、入会したと口々に動機を語る。訪問時は、十一月の市民文化祭発表の曲目をくり返し練習していた。「音をあわせて」「音の入り方に注意を」「おなかに力をいれて」「テンポ速くならないように」「緊張感のある休みを」と林さんが手と体全体でリズムをとり、ときには後ろから指の動きなどを、丁寧にときばきと指摘してゆく。

練習は和やかに「みんなのことを考えると遅れちゃうのよね」「わかるわ」とチームワークは抜群。楽譜に留意点を書き込み、優雅な時を刻む。

アンコールで、「エデンの東」のテーマ曲をお願いした。「ふるさと」を戸惑いながら弾いてみた。会員の方が即座に入会したのがわかるような心にしみる音が響いた。

操作は簡単で奥行き深く、場所も取らない。シニアの方も是非参加を、とのお勧めを受けた。

練習は、月二回、曜日時間は不定期。公民館、他で練習を行う。
連絡先 林(195) 4123

〈文・写真 大井利雄〉